第４学年　社会科学習指導案

１　単　　元　徳島県で受けつがれてきたもの

２　単元の目標

○阿波おどりや阿波人形浄瑠璃について，歴史的背景や現在に至る経緯，保存や伝承のための取組などに着目して，見学・調査活動や各種の具体的資料で調べ，年中行事や文化財を人々が願いや思いをもって受けついできたことを理解するとともに，必要な情報を調べまとめる技能を身に付けるようにする。

○地域の伝統と文化の特色や相互の関連，意味を考える力，社会に見られる課題を把握して，その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断する力，考えたことや選択・判断したことを表現する力を養う。

○地域の伝統と文化について，主体的に学習の問題を解決しようとする態度や，よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに，思考や理解を通して，地域社会に対する誇りと愛情，地域社会の一員としての自覚を養う。

３　単元の評価規準

知識及び技能	○県内の文化財や年中行事は，地域の人々が受けついできたことや，それらには地域の発展など人々の様々な願いが込められていることを理解している。 ○県内の伝統や文化について，資料館などを見学・調査したり地図などの資料で調べたりして，年表などにまとめている。
思考・判断・表現	○文化財や年中行事の歴史的背景や現在に至る経過，保存や継承のための取組などに着目して，県内の文化財や年中行事の様子を捉え，人々の願いや努力を考え，表現している。 ○地域の伝統や文化を保護したり継承したりするために，自分たちが協力できることを考えたり，選択・判断したりしたことを表現している。
主体的に学習に取り組む態度	○県内の伝統や文化について，予想や学習計画を立てたり，見直したりして，主体的に学習問題を追究し，解決しようとしている。 ○学習したことをもとに，地域の伝統や文化の保存や継承に関わって，自分たちにできることなどを考えたり，選択・判断したりしようとしている。

４　単元について

(1)子どもの実態と培いたい資質・能力について

子どもたちに徳島県で有名なものをたずねると，一番に「阿波踊り」が出てくるほど身近で，連に所属している子どもが学級に４名いる。また，同じ市内には，阿波人形浄瑠璃の資料館である「阿波十郎兵衛屋敷」があり，生活科や社会科の町探検で何度か見学をしており，人形浄瑠璃についてある程度知っている。しかし，阿波踊りや阿波人形浄瑠璃がいつごろ始まり,どのように受けつがれてきたのか，歴史的なことについては，あまり知らない児童が多い。

本単元では，歴史的背景や現在に至る経過，保存や継承のための取組などに着目して，県内の文化財や年中行事について，見学・調査したり資料を使って調べたりして，年表などにまとめ，保存したり受け継いだりしている人々の工夫や努力と地域の人々の願いを関連付け，文化財や年中行事を受け継ぎ保存していることの意味を考えさせたい。そして，学習したことを基に地域の伝統や文化を守り受けついでいくために自分たちが協力できることを考え，選択・判断する活動を通して，地域に対する誇りや持続可能な社会を担おうとする態度を養いたい。

(2)教材について

本単元では，徳島県の代表的な年中行事として阿波おどりを，文化財として阿波人形浄瑠璃を教材として扱う。阿波おどりは，年中行事として約４００年の歴史があり，時代の変化の中で，人々の願いのもと受け継がれ，形を変えながら発展し，近年は，観光的にも広がりをみせている。阿波人形浄瑠璃もその歴史は古く，かつては県内各地の農村舞台で，豊作祈願や豊作感謝の祭の際に，民衆の楽しみとして上演されてきた。時代が進むつれ映画などの新たな娯楽や戦争の影響で急速に衰退したものの，人々の努力と工夫で復興し，国の重要無形文化財に指定された。人形芝居用の農村舞台の現有数は徳島県が全国一である。阿波おどりも阿波人形浄瑠璃も徳島県が誇る伝統文化であり，保存・伝承・発展という点で価値ある教材だと考える。見学・調査を通して，文化財や年中行事に込められた地域の人々の願いを具体的に理解できるようにしたい。

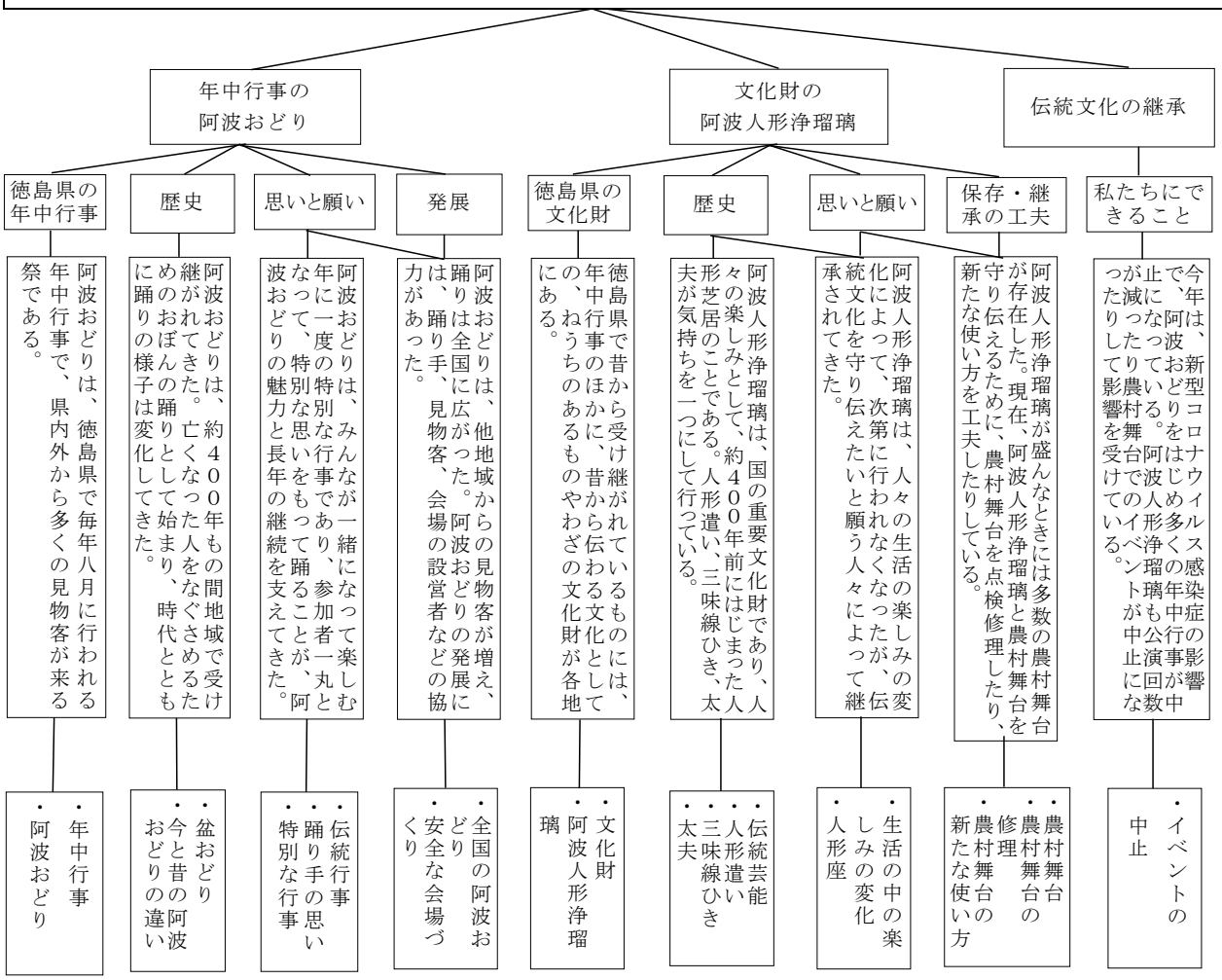
(3)単元の構造図

〔学習指導要領との関連〕第４学年　内容(４)
【知識・技能】
（ア）県内の文化財や年中行事は，地域の人が受け継いできたことや，それらには地域の発展など人々の様々な願いが込められていることを理解すること。
（ウ）見学・調査したり地図などの資料で調べたりして，年表などにまとめること。
【思考力・判断力・表現力等】
（ア）歴史的背景や現在に至る経過，保存や継承のための取組などに着目して，県内の文化財や年中行事の様子を捉え，人々の願いや努力を考え，表現すること。

【中心概念】わたしたちが住む徳島県内の文化財や年中行事は，地域の人々が代々様々な工夫や苦労を重ねながら受け継いできたものである。また，それらは，地域の人々が，地域の発展や幸福などの様々な願いを込めて，保存や継承のために努力して取り組んでいる。

歴史的背景や現在に至る経過　保存や継承のための取組

【単元の学習問題】
阿波おどりは，どうして長く続いてきたのだろう。
阿波人形浄瑠璃は，いつから始まり，どのようにして，受けつがれてきたのだろう。



５　指　導　計　画

過程	本時のねらい	主な学習活動（○）と 指導内容（◆）	児童の主な意識の流れ	学習評価
問題把握	①私たちの徳島県には，大勢の人が参加したり，見物したりしている阿波おどりがあり，その阿波おどりについて，知っていることや写真等の資料に着目して，阿波おどりへの興味関心を高める。	○補助教材の写真などを見て，知っていること・体験したことや感じられたことを話し合う。 ◆阿波おどりは大勢の人が様々な着物や小道具を身に付けて揃って踊り，他地域からは多くの見物客が来る祭りであること。	①徳島県を代表する阿波おどりについて，知っていることを発表する。 ・今年は中止になったよ。 ・大勢が踊ったり見たりしている。 ②今と昔の阿波おどりの写真を見て，気になったことや知りたくなったことを話し合う。 ・昔と今では，ずいぶん違うね。 ・どのくらい昔からあるのだろう。 ・知らないことがたくさんあるね。 ・徳島自慢のおどりだよ。	【思判表】自分たちの県を代表する阿波おどりの写真などを見て感じたことや考えたことを発表し，それらをもとに阿波おどりについて調べるための問いを見出している。 （発）（ノ）
問題予想計画	②阿波おどりの由来や歴史に着目して，その年中行事が長い間，人々に受け継がれてきたことについて調べるための学習問題をつくり，学習の見通しをもつ。	○資料や補助教材を参考にして，阿波おどりについて気になったことや疑問に思ったことをもとに，学習問題をつくり，その学習問題をもとに予想したり，学習計画を立てたりする。 ◆徳島の阿波おどりは，長い間私たちの地域で受け継がれてきたこと。	①補助教材「観光課の川口さんのお話」から，阿波おどりが４００年前から続いていることを知り，前時の疑問等も合わせて話し合う。 ・阿波おどりは歴史がある。 ・阿波おどりの起こりは？ ・よく続いてきたね。 ②話し合いをもとに，それぞれの疑問をみんなの学習問題にする。 **学習問題**　阿波おどりは，どうして長く続いてきたのだろう。 ③学習問題についての予想を分類・整理し，学習計画を立てる。 ・阿波おどり会館の見学計画 ・人々の気持ちは ・全国でも有名になったのは？	【態】阿波おどりについて調べるための学習問題をつくり，予想をもとに学習計画を立て，主体的に問いを追究しようとしている。 （発）（行）
意味把握 調べる	③④阿波おどり会館への見学を，めあてをもって行う。 （２時間扱い）	○学習問題を解決していくために，阿波おどり会館への見学を行い，気付いたことや分かったこと，考えたことを記録する。また，記録をもとに，見学のまとめをする。 ◆見学の正しい仕方，インタビューの仕方，記録の取り方等の調査活動の方法。	①調べるめあてにしたがい，阿波おどりミュージアムで見学をし，掲示物等の写真を撮る。 ・いろいろなことが分かった。 ②阿波おどりホールで，実演を見たり体験をしたりする。 ・やっぱり迫力があるね。 ③質問事項を，阿波おどり会館の方にインタビューする。 ・徳島県や徳島市は，阿波おどりに力をいれているね。 ④帰校後，各自で見学をまとめる。	【知技】見学活動を中心にして，必要な情報を調べたりまとめたりしている。 （見学カード）

確かめる	⑤阿波おどりの魅力に着目して，見学をもとにして，おどりに参加する人や関わる人から話を聞いたり，資料を活用したりして，人々の思いや願いを捉える。	○阿波おどりの参加者から行事の魅力を聞いたり,実際に自分も行事の一部を体験したりして,行事にはどのような魅力があるのかを話し合う。 ◆阿波おどりに参加する人は,特別な思いや願いをもって行事へ参加していること。おどり手の人は，連というまとまりになって,気持ちを一つにしていること。	①阿波おどりに参加する人に，行事の魅力を聞く。 ・皆，阿波おどりが大好きなんだ。 ・見てくれる人の拍手や歓声がうれしいらしいね。 ②阿波おどりの連長さんに，阿波おどりに対する思いを聞く。 ・連というまとまりが一つになり，それぞれの連ごとで工夫している。 ③わかったことをノートに書く。	【知技】阿波おどりに参加する人の話を聞いたり，さまざまな資料を活用したりして，年中行事のもつよさについて理解している。 （発）（ノ）
	⑥阿波おどりが発展してきた背景に着目し，その発展には，行事に参加する人の努力以外にも見物客や運営に携わる人々の支えがあることを理解する。	○阿波おどりが発展した経緯や,行事を支えるために努力してきたことについて,行事の主催者などから話を聞くなどして調べる。 ◆阿波おどりは見物客が増えたり，広く知られるようになったりしたこと。その発展には，おどり手，運営委員会の方，見物客，会場の設営者などの協力があったこと。	①阿波おどりを見に来る人が増えたわけを調べる。 ・「見せるおどり」という言葉があったけど，観光客が喜ぶようにしているね。 ・日本各地で，また世界でも知られ，わたしたちもうれしいね。 ②阿波おどりは，人々のどのような取り組みによって発展してきたかを調べる。 ・県庁や市役所の人も，徳島の観光を広めるように頑張ったね。 ・有名連の人は，１年中阿波おどりを見せられるようにしているよ。 ・いろいろな人の努力で，このように発展してきたんだ。 ③学習をふり返り，学習問題について考えたことをノートに書く。 ・関係図で皆の協力をあらわそう。	【知技】阿波おどりの継承や発展には，様々な人々の工夫や努力があったことを理解している。（発）（行） 【思判表】学習問題を確かめ，阿波おどりがどのようにして受け継がれてきたのかについて，自分の考えを表現している。 （発）（ノ）
問題把握 問題予想計画	⑦徳島県で阿波おどりの他に昔から受けつがれてきたものを調べて，年中行事や文化財の意味と，いろいろなものが受けつがれていることを捉える。	○県内の知っている文化財や年中行事を発表したりパンフレットなどで調べたりして,それらの場所を地図で確かめる。 ◆年中行事とは,毎年きまった時期に行われる昔からの行事のことであり，文化財とは，昔から伝わる文化として，ねうちがある物やわざのことであること。	①阿波おどりが，８月のお盆の時期に行われていることから，年中行事について話し合う。 ・阿波おどりはお盆にしているから，年中行事なんだ。 ②年中行事の他にも，昔から受けつがれてきているものについて話し合い，文化財の意味について考える。 ・お祭りやおどりもあるけど，建物や仏像なども受けついでいるね。こんなのも文化財と言うんだ。 ③徳島県の中で，年中行事や文化財をパンフレットやインターネットを活用して調べ，暦や地図に整理して，気付いたことを話し合う。 ・徳島県には，たくさんの年中行事や文化財があるね。	【知技】各種の資料を活用して，必要な情報を収集したりまとめたりしている。（ノ） 【知技】年中行事や文化財についてその意味と大切さを理解している。 （発）（ノ）

問題予想計画	⑧年中行事の阿波おどり以外に，県内にある文化財に着目し，それを調べるための学習問題をつくり，学習の見通しをもつ。	○県の文化財や年中行事についてさらに調べるための学習問題をつくり，学習計画を立てる。 ◆県内各地には様々な文化財や年中行事があること。	①いろいろある年中行事や文化財の中で，阿波人形浄瑠璃について知っていることを話し合う。 ・阿波人形浄瑠璃って知らないよ。 ・阿波おどりと並ぶ徳島の文化財らしいよ。 ②文化財としての阿波人形浄瑠璃について調べる学習問題をつくる。 ・これも昔から続いているね。 **学習問題**　阿波人形浄瑠璃は，どのように受けつがれてきたのだろう。 ③学習問題についての予想を分類・整理し，学習計画を立てる。 ・阿波おどりと比べて，受けついでいくのに違いがあるのかな。	【態】年中行事以外に，県内にある文化財について調べるための学習問題をつくり，学習計画を立て，主体的に問いを追究しようとしている。 （発）（ノ）
意味把握 調べる	⑨県内にある文化財の歴史に着目し，長い間，県の伝統芸能として，人々に継承されてきたことを理解する。	○調べる文化財がどのようなものかについて，資料館の人や人形つかいの人から話を聞いたり，年表や資料を使って調べたりする。 ◆その文化財を守り伝えたいと願う人々によって，現在も継承への努力が続けられていること。	①阿波十郎兵衛屋敷のホームページや資料を見て調べる。 ・阿波人形浄瑠璃は文化財だ。 ②その文化財が，どのようなものであるかについて調べる。 ・人形つかい・三味線ひき・太夫の三つの役割でできているよ。 ・伝統芸能とも言われているよ。 ③その文化財を守り伝える人の思いや願いを調べる。 ・取り組んできた人たちの思いがとても強かったんだ。	【知技】県内にある文化財には長い歴史があり，それを守り伝えていくために，人々が様々な努力していることを理解している。 （発）（ノ）
確かめる	⑩文化財の保存と継承に着目し，保存と継承に関わる課題や守り伝えるための工夫を捉える。	○文化財の保存や継承に携わる人から話を聞いたり，保存・継承していくための工夫や努力について調べたりする。 ◆その文化財を守っていくため，人々に広め伝える取り組みや工夫が進められていること。	①文化財が保存されるようになるまでにどのようなできごとがあったかを調べる。 ・一度は，ずいぶんさびれてしまったけど，最近盛んになってきた。 ②文化財の保存と継承に関わる苦労や課題について，保存に携わる人から話を聞く。 ・農村舞台を使って，いろいろなイベントをしているらしい。 ・県立の資料館も作っているね。 ③文化財を守り伝えるための工夫を調べる。 ・県庁や市役所，保存会の人たち，そして観客も，いろいろな人が工夫・努力してくれたんだ。	【知技】文化財の保存と継承には課題もあり，文化財を守り伝えるために，様々な工夫が行われていることを理解している。 （発）（ノ）

	⑪阿波おどりと阿波人形浄瑠璃について調べてきたことを振り返り，その共通点から，文化財や年中行事の保存・継承の在り方を考える。	○調べてきた阿波おどりや阿波人形浄瑠璃について振り返り,それぞれの歴史や保存･継承のための取り組みといった項目に分けて表に整理する。整理した表を見て，調べた文化財や年中行事に関する共通点，相違点を見出す。 ◆文化財や年中行事を保存･継承していくことが大切であり,そのために工夫しながら取り組んでいる人々がいること。	①調べてきた阿波おどりと阿波人形浄瑠璃について，表に整理する。 ②整理した表を見て，共通点・ちがう点について話し合う。 ・４００年前からは同じだ。 ・人々の工夫や努力も同じだ。 ③年中行事も文化財も，いずれも昔から人々が大切に保存・継承してきていることやその意味について話し合う。 ・昔から続いていることだし，これからもまもっていかなくてはならない大切なものなんだ。	【知技】県内の文化財の保存と継承について調べたことを表に整理している。（発）（ノ） 【思判表】調べてきた文化財や年中行事の保存や継承に関わって，その大切さを考えている。 （発）（ノ）
発展 広げ深める	⑫前時の学習をもとにして，新型コロナウイルス感染症予防のために中止になった阿波おどりから,自分の考えをまとめ，県内の文化財や年中行事を保存・継承していくために自分にできることを考え，表現する。	○文化財や年中行事を保存･継承していくことが大切なのに,それが新型コロナウイルス感染症のためにできない問題から，保存･継承していくためには,時代時代で工夫努力してきたこと,今後もしていく必要があることを考える。その中で，自分にできることを選択･判断するとともに，それらが保存･継承にどのような意味をもたらすかを見いだす。 ◆文化財や年中行事を保存･継承していくために,自分たちにもできる取り組みがあること。	①新型コロナウイルス感染症予防のために中止になった阿波おどりの事実から，文化財や年中行事を保存・継承していくことの難しさとそのための工夫を考える。 ②これまでも，思いや願いを大切にしつつ，工夫や努力をしてきたことを考え，今回の課題を解決する方法を考える。 ・一般的なまとめ文 ③保存・継承するために，自分ができることを考え，発表して話し合う。 ・自分事としての文 ・本当にできるのかを問い直す	【思判表】調べてきた文化財や年中行事の保存や継承に関わって，自分が協力できることを考えたり学習したことの中から選択・判断したりして，発表している。 （発）（ノ）

６　本時の指導（６/１２）

（１）本時の目標

阿波おどりが発展してきた背景に着目し，その発展には，行事に参加する人の努力以外にも運営に携わる人々の支えがあることを理解する。

（２）本時の展開（マル付き数字は各学習活動に要する時間〈分〉を表す）

子どもの意識の流れ	学習活動及び◇指導・支援◆評価
阿波おどりは４００年も続いてきたんだね。 日本のいろいろな地域，外国でもおどられているよ。 ↓ 阿波おどりが発展してきたのは，人々のどのような取り組みがあったからだろう。 ↓ 【おどり手】 ・おどりをよく見せるために工夫している。 ・１年中阿波おどりが見せられるようにしている。 【県庁･市役所の人】 ・おどりの見せ方を工夫している。 ・他の地域に宣伝している。 ・他の地域との交流も深めている。 【会場の設営者】 ・「さじき」や街角おどりができる広場を設置している。 ･インターネットでチケットを販売している。 ･臨時駐車場を設けている。 ↓ 阿波おどりの発展は，おどり手や運営委員の方，会場設営者などの工夫や努力があったからなんだね。 ↓ 阿波おどりが，４００年も続いて発展してきたのは，いろいろな人の工夫や努力があったからなんだね。 ↓ 徳島県で，阿波おどりの他に昔から受けつがれてきたものにはどんなものがあるだろう。	**１　前時までの学習を振り返り，本時のめあてを確認する。** ⑮ ◇資料や写真を提示し，阿波おどりが発展してきたことを想起させ，本時の学習の方向づけをする。 **２　「おどり手，県庁や市役所の人，会場設営者など」それぞれの取組について出し合う。** ⑮ ◇おどり手，県庁や市役所の人，会場設営者，それぞれの立場ごとにグループに分かれ考えさせる。 **３　阿波おどりが発展してきた理由について話し合う。** ⑩ ◇グループごとに発表させ，それぞれの立場の人たちが，工夫・努力していることを捉えることができるようにする。 **４　本時の学習を振り返る。** ⑤ ◇おどり手，県や市，運営委員の方がそれぞれの立場で工夫して阿波おどりの発展に努めてきたことを捉えさせる。 ◇振り返り文を書くことにより，前時までの学習のまとめができるようにする。 ◆阿波おどりの発展のために，それぞれの立場の人々が工夫・努力していることを捉えている。 （思考・判断・表現） 【発言・ワークシート】

1　今日は，阿波おどりのまとめ学習ですので，振り返りをしたいと思います。

・いつから　→　約４００年前
　　１５００年代　１５７８年
　　風流おどり
・どんなふうに　→　今は見せて楽しい
　　昔は自分が楽しむ
・それはいつ　→　５０年前　大阪万博で
　　見せるおどりに
・場所は　→　最初は城下町だけで
　　今は日本各地で
　　世界にも広がっている
・阿波おどりは，順調に毎年開催されてきたのかな。
　→　何回も中止，禁止があった
　　御触書で何回も禁止された
　　戦争でも何回も中止した
　今年，戦後はじめて中止になったね。
　→　新型コロナウィルス感染症の影響で
・長く続いていて，世界でもおどられるように発展してきたけど，どうしてそうなったのかな。
　努力した人がいるのではないかと予想したね。
・そこで，今日のめあては
　「阿波おどりが発展してきたのは，人々のどのような取り組みがあったからだろう。」

2　このめあての「人々」とは，どんな人なのだろうか。

　→　市の観光課の人
　　阿波おどり会館の人
　　おどり手・鳴り物の人
　　見物客・外国の人
　　さじき・駐車場などのスタッフ
・いろいろな人々の力があったのですね。
・それでは，自分はどの立場の人について考えますか。
　それぞれ自分の名札をはってみてください。
　　全員，自分の名札を黒板にはる
・それでは，グループになってください。
　ワークシート６に，話し合いの内容をまとめていってください。時間は１０分です。

3　グループに分かれて話し合い活動　　１５分

見物客・外国の人のグループでは
・最初，話し合いの方法を確認→順番に発言
・２人ぐらいがまとめ出す→付け加える
・前半は，国内の見物客と外国の人を分けて話し合いをしていたが，結局同じだと気付く
・資料を確認して気付く
↓
見た人がおもしろいと思って，他の人たちに広めたんだろう。
かっこいいおどりを見て，自分たちもおどりたくて，自分たちの地域で始めたんだろう。

・それでは発表してもらいます。

㊟　多くの人が安全に見物できるさじきの設置
　インターネットでチケット
　臨時の駐車場
　県外や外国との交渉

㊐　他の地域との交流，いろいろな地域への宣伝
　おどり方の工夫をする

㊫　積極的に外国に行っておどる
　来てくれた人におどってもらう
　おどり方の工夫，見せるおどりに

㊛　楽しいと思い，他の人に広めてくれた
　かっこいいおどりを見て，自分もやりたくなって

㊅　安全に気を付けて交通整理
　早くさじきを設置
　おどり手の整理

・それぞれのグループの意見を聞いて，どんなことを考えましたか。
　（発問後，時間をあける）
　いろいろな立場ごとで，阿波おどりへの思いがあるのだなあ。だから行動しているのだ。
　ばらばらに思っているのではなくて，阿波おどりを大切にしたいという気持ちでつながっている。
・そうですね。いろいろな人が工夫・努力して，阿波おどりが発展してきたんだね。
・みんな，どう思う。　→　すばらしい
・今年は，中止になりましたが，来年は。
　→　絶対にしてほしい

4　今日の振り返りを書いてみてください。これまでの阿波おどりの学習全体でもいいです。

　一生懸命に書き込みをする
時間がきているので，終わりましょう。
振り返りが出来た人は前に出してください。